



行動します！
伝えます！
お応えします！

大西けんじの

おーにゅーす O-News (市政報告)

令和7年12月三田市議会定例会(第384回)

令和7年12月三田市議会定例会(第384回)が、11月27日から12月23日までの会期27日間で開催されました。

今議会の一般質問において、

1. クマの目撃情報への対応について
2. 子育て支援について
3. 三田市におけるクールジャパン戦略についての3項目について質問をいたしました。



1. クマの目撃情報への対応について

大西の質問

- (1)三田市におけるクマの目撃情報の推移について
 - (2)クマの目撃情報への対応について
 - (3)国のクマ被害対策パッケージへの対応について
- 全国的にクマの被害が大きな問題となっており、三田市においても、昨年からクマの目撃情報が報告され、市民も不安に感じている。今回、国がクマ被害対策パッケージを発表しているが、それを受けて国・県との連携、猟友会との調整など三田市における対応の検討状況を伺う。また、それら検討結果について広報などを使用した情報展開を要望する。



当局の答弁

現在、国のクマ被害対策パッケージを受けて、三田市が常時使用できるクマ用の箱罠を準備し、クマスプレーなどの備品も購入する予定としている。また県や猟友会との調整も進めており、出来る限り早く対応案をまとめたいと考えている。また、広報含めた情報発信も、三田市民、周辺市町の住民が安心していただけるよう努めていきたい。

2. 子育て支援について

大西の質問

- (1)三田市における未就学児の推移と保育施設の空き状況
- (2)育児休業期間における保育施設在園継続条件の緩和について
- (3)療育支援における相談支援専門員による計画相談支援セルフプランの併用について

子どもが二人以上いる家庭では育児休業期間は年上の子どもが在園継続できない条件があるが、社会情勢の変化とともに条件を撤廃し、様々な家庭状況でも保育施設に通園できるようにすべきと考えるが市の見解を伺う。療育支援において、相談支援専門員の計画相談支援は第三者の専門員による相談対応で保護者も助かっている。一方で療育開始までに期間を要するためセルフプランによる早期開始も保護者が選択できるよう併用してはどうかと考えるが、市の見解を伺う。

当局の答弁

在園継続条件に関しては、社会情勢の変化は認識しており、募集状況の把握、市内施設との調整を踏まえ、令和8年9月の募集開始時期までに条件緩和できるよう前向きに検討する。療育支援に関しては、相談支援専門員による対応を原則とするが、セルフプランを希望する保護者には相談支援専門員の必要性などを説明するとともに柔軟に対応できるよう取り組む。

3. 三田市におけるクールジャパン戦略について

大西の質問

- (1)三田市におけるクールジャパン戦略について
- (2)三田市の名称や地域に伝わる雷の民話を活かした新たなプロモーションの可能性について
- (3)地域活性化や観光促進を目的とした「ポケモンマンホール」の設置について

桑原地区の欣勝寺に伝わる雷の民話、雷鳴は英語でサンダーとなり、三田市の名称と合わせて、サンダーシティとして新たなプロモーションの可能性を検討してはどうか。また、アニメ、漫画やゲームなどのコンテンツ産業には雷をモチーフにしたキャラクターが数多くあり、コラボなどで市の活性化につなげてはどうかと考えるが、市の見解を伺う。



当局の答弁

「三田」と「雷(サンダー)」の語感を重ねたプロモーションは、民話を持つ物語性と現代的なコンテンツを融合させる興味深い視点であり、可能性を模索していきたい。また、雷に縁のあるポケットモンスターの活用など、様々なコンテンツを最大限活用していく。本市の歴史・文化・名称といった独自性を現代的な感覚で新たな価値を構築し、今まで分散していた情報発信を、統一的なコンセプトのもとに集約し、一体的な情報発信の体制を構築していく。

一般質問や本会議の様子はYouTubeで配信されております

大西の今議会での質問の様子は「三田市議会 令和7年12月定例会第4日
(12月16日)の約38分頃から視聴いただけます。



12月定例会で提出された全29議案に対する賛否

議案番号	結果	議員の賛否	大西の賛否	議案番号	結果	議員の賛否	大西の賛否
議案 第86～93号	可決	全会一致	賛成	議案 第101～103号	可決	全会一致	賛成
議案 第94号	可決	賛成：18 反対：3	賛成	議案 第104号	否決	賛成：10 反対11	賛成
議案 第95～99号	可決	全会一致	賛成	議案 第105～111号	可決	全会一致	賛成
議案 第100号	可決	賛成：18 反対：3	賛成				

議案の詳細は市HPで確認できます



三田市における物価高対策の支援内容決定

国の方針を受けて、三田市における物価高対策の支援内容が以下の内容で決定いたしました。

- ①**市民一人につき5000円の現金給付**(マイナンバーカード紐づけ口座への振り込み)
- ②**水道料金の基本料金の減免**(2026年4月から4か月間)
- ③**子ども一人につき20000円の給付**(児童手当振込口座への振り込み)

支援内容について、全ての市民や事業者に広く、なるべく早く支給する一方で、報道等でも問題視されている事務手数料をなるべく減らすよう工夫されており、納得できる内容です。

ただし、通知の送付や振り込みを一括で実施するなど、まだ改善の余地はありましたので市に対して要望いたしました。支給には手続き等が必要になりますので、忘れずに実施をお願いいたします。

フラワータウン再生拠点施設整備事業

今12月議会において、イオン新商業施設(フローラ88跡地)へのフラワータウン市民センターの移転案が再提案されました。9月議会での提案内容からの大きな変更点は多世代交流館フラットの移転中止、移転先でのミニホール機能の整備になります。賛否は9月議会と同じく、予算決算常任委員会、議会ともに賛成10票、反対11票で否決となりました。私は9月議会から変わらず、フラワータウンの活性化には、センター地区に飲食店を含めた複合商業施設が必要であると考え、賛成いたしました。今回の否決を受けて、新商業施設の縮小や開業時期の遅れなど懸念はありますが、市民、議会、市が一体となり、フラワータウン再生に向けて進めていけるよう、引き続き議論を深めてまいります。

ごみ袋問題について

8月に発表された財政ロードマップ(案)に含まれていた指定ゴミ袋の値上げ検討に端を発した、市内での供給不足は、市庁舎や市民センターでの販売、供給量の増加に伴い市内販売店でも販売されているのを見かけるようになりました。今回の事態の要因は市の情報発信の拙さにあつたと考えており、改善を申し入れしました。12月末からは指定ゴミ袋以外の透明袋でも利用可能となりました。(詳細は市HPにて確認願います)透明袋の利用は助かりますが、指定ゴミ袋限定の再開時期が未定であり、再開時に混乱を招く懸念を市に伝えました。再開時に混乱を招かないよう、注視して議論を進めてまいります。

10月～12月間の市民からの相談件数：10件 ごみ袋不足について、横断歩道の設置についてなど

大西けんじ 後援会事務所 〒669-1513 三田市三輪二丁目3番33号 ☎ 079-563-1860 FAX 079-563-5093
藍・つじが丘事務所 〒669-1341 三田市西相野560-4 ☎ 079-559-7003(FAX兼用)
本人連絡先 ☎ 090-9092-4621 ✉ hwfwc27720@yahoo.co.jp

大西けんじはよくある政治家のイメージではなく、皆さまの身近な存在、三田市で暮らす皆さま・三田市で働く皆さまの代表として頑張っております。「誰もが安心して暮らし、笑顔になれるまち三田！」の実現のためにも、皆さまのご意見や声をお聞かせください。各種SNSで大西けんじの日々の活動や思いを発信しています。是非フォローよろしく願いいたします。

YouTube



↑クリック↑

Facebook



↑クリック↑

Instagram



↑クリック↑

X



↑クリック↑